



チーズ+玉貴加工配管溶接技術

主な事業内容

製薬工場向け
サニタリー配管の製作・工事

主な取引先(納入先)

研究機関、医薬品・製薬メーカー
など

主な製品

精製水などの供給設備配管、
製薬製造ユニット・計装設備

ツカサ工業 株式会社

製薬向け

サニタリー配管に匠の技

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンライン
見積
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット
生産
対応

業務内容
現場たたき上げ、
製薬向けで事業拡大

ツカサ工業は、サニタリー配管工事の中でも、製薬向けに特化する。高い品質が求められるニッチな領域だ。霜野順司社長は「一人親方」として、大手メーカーの石油化学プラント配管工事に従事し、現場で基礎を学んだ。平成13年に個人事業として立ち上げ、上場会社との取引要件であったことから平成18年に法人化した。

品質に直結する溶接技術のさらなる向上に取り組みとともに、専門工事業者の枠を超えて、配管の製作だけでなく、設計から据付、さらには納入工程の妥当性を検証する「バリデーション」業務まで一貫して対応。取り組みを通じて、顧客に「安心」を提供している。

強み
顧客の負担軽減を訴求
溶接品質へのこだわり

一貫対応によって、顧客の負担軽減を訴求する。同社は社内でも対応できる領域の拡大と合わせて、協力会社と連携を強化。霜野社長は「横のつながりを強固にしていく」と意気込む。

溶接は、配管製作・工事の中核。霜野社長は「材料は品番が同じでも、ロット

が違うと加工条件も変わる」と強調し、溶け込みの微妙な違いにも対応。材料を供給するメーカーからは、そこまでこだわる会社はほかにないとの評価だ。治具を開発して、自動溶接を適用できる範囲を広げた。社内では勉強会を開き、ノウハウの共有に努める。一方で、霜野社長は「溶接だけきれいで顧客には選んでもらえない」とも話す。

新工場
技術・サービス磨き、
飛躍を誓う

令和元年、泉佐野市に新工場を稼働した。明るく、清潔感ある工場は試運転の立ち会いに訪れる顧客にも好印象だ。霜野社長は「メンテナンスマまで受注できる装置を作りたい」との構想を披露する。めざすは「快適な装置」。だ。「社員の研究意欲が実現のカギ」と、霜野社長は見ており「誰でもできることをやり続けることが大事だ」と説く。

3〜5年先を見ずえてデジタル化にも取り組んでいる。生産性改善や脱属人化のための電子マニュアルや動画の活用にも積極的だ。製薬向けを軸に置きながら、エネルギー向けなど新しい事業領域への展開も勉強中。将来の変化に布石を打つ。

社長あいさつ



代表取締役
霜野 順司さん

当社では、「従業員、地域社会、お客様の満足のために変革し続ける会社」をめざし、正直な経営を継続していきたいと考えております。目先のことにとらわれず、中長期的に時代の変化を読み取り、変化を恐れず常にチャレンジし続ける組織にします。

主な保有設備

- 形鋼用バンドソーマシン SCH -25PC
最大300mの厚さまで対応
アマダマシン製 1台
- 自動溶接機 P6-CW6、PS164
POLYSOUDE製 各1台
- 自動溶接機 P4
POLYSOUDE製 2台
- 内視鏡 IPLEX-MX
オリンパス製 1台

大阪03

住所 / 〒598-0021
泉佐野市
日根野2321-1

TEL / 072-424-1489

FAX / 072-425-2138

創業 / 平成19年5月

設立 / 平成19年5月

資本金 / 1,300万円

従業員 / 14名



湾曲した配管溶接も自動機で実現



医薬用精製水供給装置



<http://tukasa-kk.co.jp/>